



平成29年11月分 大分税関支署管内貿易概況

平成30年1月9日
門司税関 大分税関支署

県全体の貿易額

輸出額は684.1億円、前年同月比23.3%増、14か月連続のプラス
映像機器、鉄鋼、有機化合物などが増加
船舶類などが減少

輸入額は746.8億円、前年同月比2.0%減、2か月連続のマイナス
銅鉱、揮発油、鉄鉱石などが減少
原油及び粗油などが増加

主要品目 (単位：百万円、%)

輸 出	価 額	前年同月比	構成比	輸 入	価 額	前年同月比	構成比
有機化合物	8,794	126.7	↑	鉄鉱石	16,211	97.6	↓
鉄鋼	18,319	112.5	↑	銅鉱	2,790	11.6	↓
銅及び同合金	6,356	82.0	↓	石炭	15,438	141.3	↑
事務用機器	10,880	115.3	↑	原油及び粗油	17,124	414.4	↑
映像機器	13,120	2695.2	↑	揮発油	5,388	91.1	↓
船舶類	1,983	29.0	↓	液化天然ガス	8,529	118.4	↑

港（通関官署）別の状況 （詳細は、別添「港別外国貿易概況」参照）

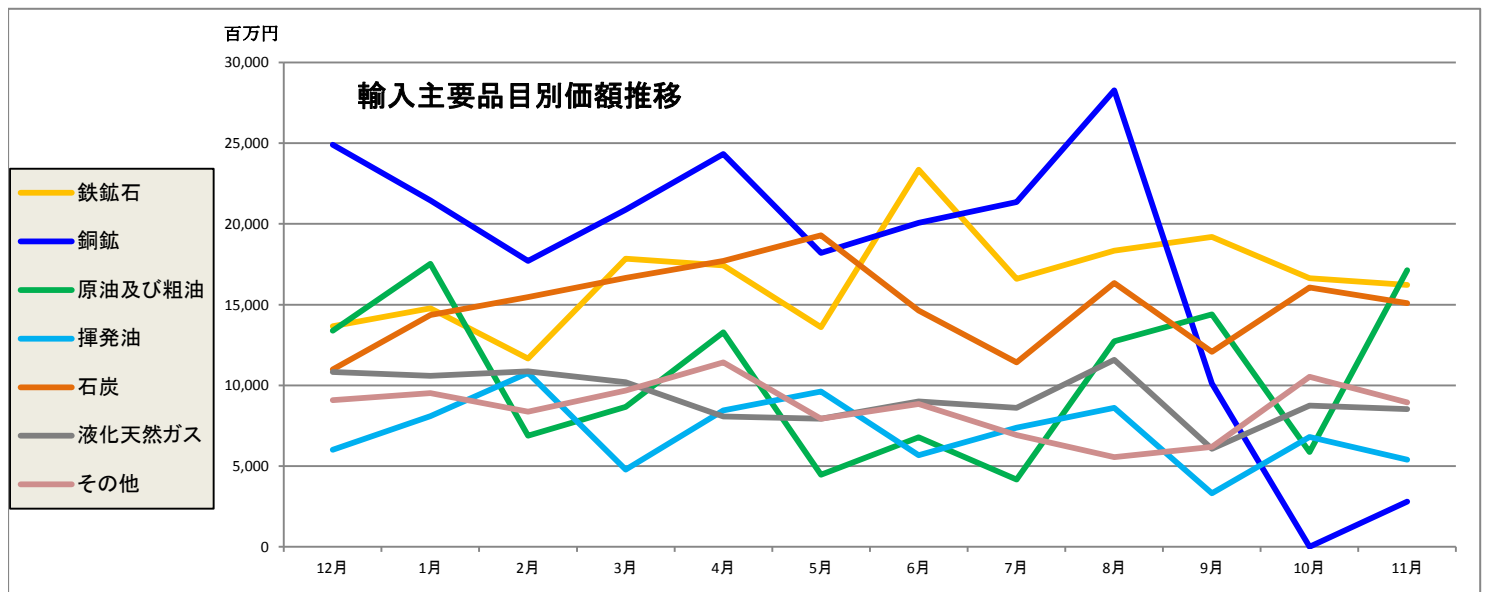
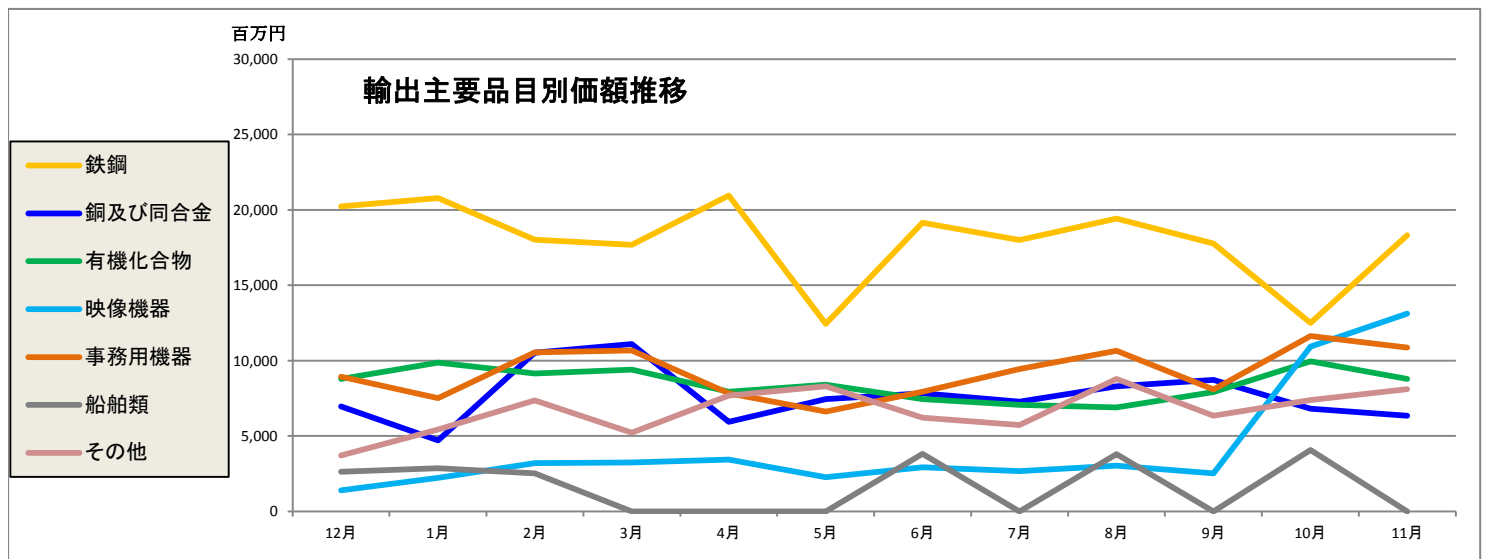
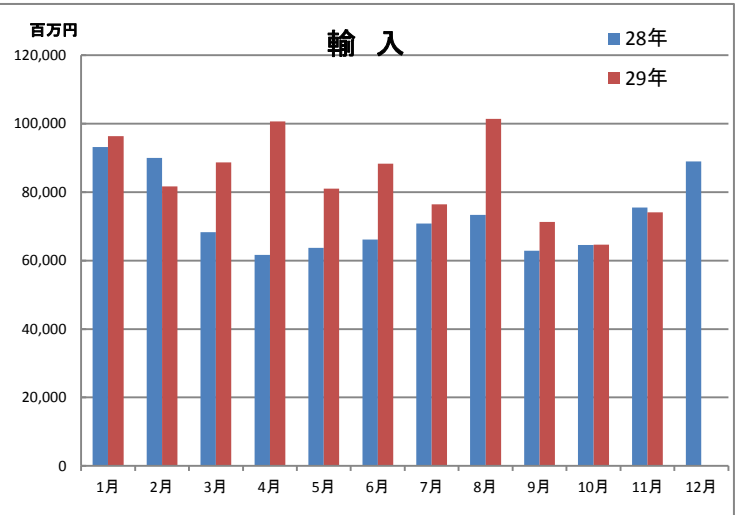
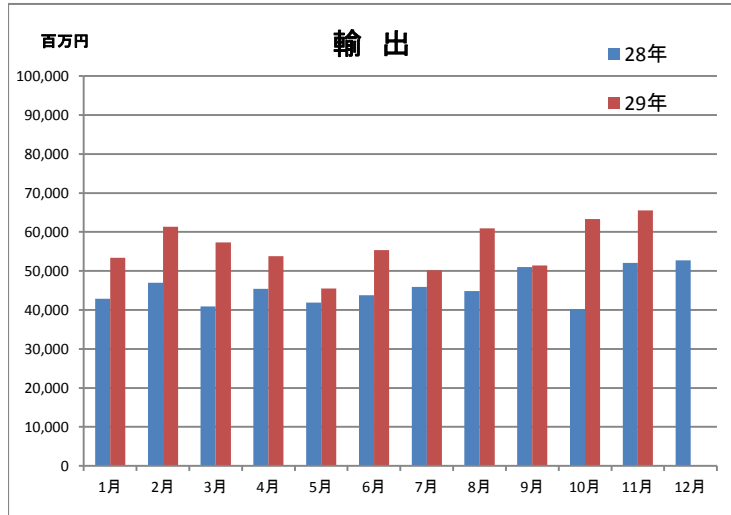
- 大 分）輸出は655.7億円、前年同月比25.8%増。映像機器、鉄鋼、有機化合物などが増加
輸入は740.8億円、前年同月比1.9%減。銅鉱、揮発油、鉄鉱石などが減少
- 佐 伯）輸出は20.4億円、前年同月比75倍。船舶類、木材が増加
輸入は2.3億円、前年同月比21.2%減。船舶類、鉄鋼などが減少
- 津久見）輸出は7.9億円、前年同月比76.4%減。船舶類、セメント、石灰石が減少
輸入は3.8億円、前年同月比9.2%減。石炭が減少
- 大分
空港）輸出入実績なし

港 名（通関官署） (単位：百万円、%)

区 分	輸 出				輸 入				差引額	
	価 額	前年同月比			価 額	前年同月比			出・入超	価 額
大 分(大 分)	65,574	125.8	↑	13か月連続のプラス	74,077	98.1	↓	2か月連続のマイナス	入超	8,504
佐 伯(佐 伯)	2,043	7531.3	↑	2か月ぶりのプラス	231	78.8	↓	2か月連続のマイナス	出超	1,813
津久見(津久見)	790	23.6	↓	2か月連続のマイナス	376	90.8	↓	2か月ぶりのマイナス	出超	414
大分空港(大分空港)	-	-			-	-			-	-
大 分 県	68,407	123.3	↑	14か月連続のプラス	74,684	98.0	↓	2か月連続のマイナス	入超	6,277

※ 港別貿易額は、各官署の通関額合計による。また、大分の実績には佐賀関港・中津港の実績を含む。
※ 大分県の価額欄は、各港毎の千円単位までの合計数値から四捨五入で算出。
※ 輸出は確報値、輸入は9桁速報値による。

大分港貿易額の推移



この内容を引用されるときは、大分税関支署発表によると付記してください。

本資料に関する問合せ先：大分税関支署 管理課
シロイ クロイ

★ 密輸ダイヤル(24時間受付)【0120-461-961】

TEL 050-3539-3300

FAX 097-524-0067

ホームページアドレス <http://www.customs.go.jp/moji/>
税関チャンネル <http://www.youtube.com/user/mof>